

富良野市廃棄物減量等推進審議会（平成30年度第1回）会議録

日時 平成31年1月28日（月）10時00分～11時15分

場所 市役所第3会議室

出席者 委員：軽米達也、高橋穰二、高田英樹、河原由紀子、中田正孝、跡部昇一、
吉田末子、福田弘明（8名出席）

（欠席委員）高松慶子

理事者 市長 北 猛俊

事務局：市民生活部長 山下俊明、環境課長 関根嘉津幸、リサイクル所長 高橋秀文、
環境係長 末松千幸、環境係 鈴木茂喜

1. 開会（進行：関根課長）

2. 市長挨拶

- ・条例の改正について
- ・ごみ減量について
- ・資源回収について（看板の改修、プラスチック類分別によるRDFの品質向上、衛生ごみ紙おむつの回収について）

3. 委員長挨拶（軽米委員長）

4. 報告事項（議長：軽米委員長により進行）

1) 廃棄物処理及びリサイクル事業の概要について

○廃棄物の処理及び指導実績について・・・・・・・・・・資料1～3

ごみ排出量の推移・・・・・・・・・・資料1-1

固形燃料（RDF）中の塩素濃度の変化・・・・・・・・・・資料1-2

固形燃料ごみ中のプラマーク付きプラスチック含有量調査 資料1-3

ごみの適正な排出について・・・・・・・・・・資料3-1

○ごみ処理券のコンビニ販売実績について・・・・・・・・・・資料4

○ごみ分別アプリについて・・・・・・・・・・資料5

○資源回収ステーションの看板改修について・・・・・・・・・・資料6

※事務局（末松係長）より資料1～5、1-1、1-2）まで説明、資料6を環境係鈴木
説明、資料1-3、3-1を高橋所長説明

質疑応答：

軽米委員長：ただ今の報告事項について、質問、ご意見等ございますか？

跡部委員：審議会とは関係のない話しではありますが、土別市の資源ごみ回収方法について、視察で聞いているが1軒1軒の個別回収を行っており、収集運搬に係る費用が相当係ると思う。

軽米委員長：説明の中で説明会後の固形燃料の質が元に戻りつつあるとの話だが、委員の皆さんからご意見ありますか？

高田委員：固形燃料の質については、塩素が問題なのか、プラスチックが入ったらだめなのか？

末松係長：塩素分が問題なので、ラップや薬の包みを固形袋に入れなくて、プラの方に入れてもらうよう説明会で説明してきた。

高田委員：そこが分けられれば、塩素濃度が下がるということか？

末松係長：そういうことです。市の分別規定では、薬とラップを分けて下さいとの分別規定とはなっていないので、分別基準のとおり、市民に分かりやすくプラマークの付いたプラスチック類に分別してくださいと市では整理している。プラスチック類の中には薬の容器、ラップ等が含まれるため。

高田委員：食品についているもので洗えないものについて、固形燃料ごみに入れているのでは。

福田委員：プラスチック類に入れるものは、プラマークが付いているものとイメージが出来上がっているのので、ラップ類は固形燃料だと思っている。

末松係長：分別説明会では、特にラップ類、薬の包装についてプラの方に入れて下さいと説明をしてきた。更に説明を加え周知していきたい。

軽米委員長：分別説明会では何名くらいの市民が集まったのか？

末松係長：地域説明会では約 900、個別の説明会で約 500 名、1400 名の市民に説明をしてきた。

軽米委員長：皆さんは各団体から参加されているので、何かの会合があった時に今回のプラの説明会を行っていただける様、宣伝する時間を作っていただきたい。

軽米委員長：アプリの周知についてあまり伸びていないように感じるが？

末松係長：周知徹底していきたい。

高田委員：ごみステーションの看板にアプリのQRコードを入れたら、アパートの新規入居者などに良いのでは？

末松係長：前向きに検討したい。

高田委員：入転居届の人たちのごみ分別の対応は？

末松係長：ごみ分別の対応については、入転居時に窓口で分別の説明を行っている。

高田委員：塩素濃度の関係ですが、薬局の方で薬の飲み終わった後の分別の方法をおじいちゃん、おばあちゃんにプラですよ話をしてもらおうということを考えてみては？

河原委員：薬局での待ち時間等で薬局の中でコーナーを作ってその中で薬の分別方法を周知したら良いのかも？

末松係長：検討していきたい。

高橋委員：北の峰地区の外国語標記の看板設置のその後はどうですか？

鈴木係：設置前より大分良くなってきている。ステーション近隣の人からの情報もあり、説明に行く場合もあるが、冬場は相当数の外国人が来ており、ケースバイケースで対応している。

末松係長：つかんでいる情報では、外国人が富良野市に来られる方は色々なパターンがあるが、個人旅行で来られた方、就労という形で来られた方など、各事業所の農家のヘルパーさんやスキーのインストラクターなど分別の説明をしているが、事業所の日本就労者の協力をいただきながら、分別を行ってもらえるよう要請している。

末松係長：跡部委員から話があった土別市の収集経費は、富良野市と比較した場合、約 2 倍の費用だと聞いている。合併前の土別市部分が個別収集。

高橋委員：函館市も個別収集しているが、聞いた話では、収集車に 3 名で助手が 2 名で収集がハーフマラソンの様に毎日約 20 キロを走るそうです。

中田委員：農協に入っている農業技能実習生のごみ分別については、誰が指導しているのか？事業所ごみとして管理しなければならないのでは？

福田委員：宿泊施設は富良野と東山で 40 名ほどいる。それぞれ宿泊施設で管理していると思うが。

末松係長：現状すべてを調査しているわけではない。思っている以上に外国人就労者が入ってきており、ひどくなってきた場合、情報収集していかなければならない。

軽米委員長：その他皆様からご意見等ご質問が無ければ、報告事項を終了させていただき、議題に移らせていただいでよろしいでしょうか。

それでは、議題 2 件ございますが、議題 1) について、事務局より説明をお願いします。

5. 議 題

- 1) 富良野市廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部改正について
- 2) 富良野市一般廃棄物処理施設の管理技術者の資格に関する条例の一部改正について

※事務局（末松係長）より説明。

軽米委員長

事務局より説明がありました。今の議題 1) の説明に対し何か意見等ありますか。

高田委員：消費税の吸収（据え置き）は困難ということか？

末松係長：全庁的に足並みを揃えて10%で進めている。

市だけでなく、許可業者も同様のことから、10月1日で10%にしなければ、許可業者が不利益を被るため改正を予定する。

高橋委員：今回の改正理由は消費税の上昇分だけになっているが、基本料金の400円、800円1200円の料金部分見直しは行わないのか？

末松係長：細かい見直しについては、今後検討が必要と考えている。

高橋委員：現在無料となっている処理料金について、具体例では枝・草類の有料化の話があったが、あくまでも消費税のみの改正と考えて良いのか？

また、10月1日が延期になった場合はどうなるのか？

末松係長：消費税の改正だけであり、延期の場合は、改正延期の条例改正を予定する。

高橋委員：第14条の事業所ごみの処理手数料の削除ですが、「現在、事業所からの粗大ごみは産業廃棄物扱いのため」と記載があるが、事業所からは事業系一般廃棄物もあろうかと思えますが、その取扱いはどのように考えているのか？

末松係長：事業系一般廃棄物については市が現在取扱っていないため、条例の削除とした。

高橋委員：粗大ごみの料金ですが、収集の料金なのか、処理をする解体の料金なのか、同じように固形ごみや他の物もそうですが、収集は委託ということで、市が払っていますが、事業系一般廃棄物の処理も市の施設で行っていることから、収集料金なのか処理料金なのかぴんと来ないのでそこら辺の説明をお願いしたい。

関根課長：事業系ごみは家庭系のごみと同じく分別していただいて、市の施設に入っているものは入っている。事業系は有料化を行っている。処理料金は取っていないが将来的にどうなるか別にしても現状そのことで整理させていただく。基本的には改正を予定している処理料金で一般廃棄物の市の施設に入るものについては、今回の内訳区分により整理をさせていただきたい。

軽米委員長：ほかにございませんか。なければ議題2) について説明をお願いします。

※末松係長説明

軽米委員長

意見というよりもこう変わりますということですので、内容よろしいですね。

8. その他

軽米委員長

各委員から全体をとおして何かご意見、ご質問等ありますか。

高橋委員：お願いでございますが、条例の改正ということで、大切なことと思いますので、改正に係る部分の検討には、十分な上にも十分にご検討をお願いしたい。

軽米委員長

本日予定していた内容については、全て審議をされました。

長時間に渡りまして、皆さんの貴重なご意見をいただきました。

ただ今委員の方々から頂いた貴重な意見を参考にしながら、サービス充実をお願いしたい。

以上を持ちまして、富良野市廃棄物減量等推進審議会を閉じさせていただきます。

9. 閉会

事務局（関根課長）